※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・芸術科書道では、小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、用具用材の違いによる表現の違いなどを学びます。
・楷書、行書、漢字仮名交じり文、仮名、刻字の学習を通して、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

・書の表現の方法や形式、多様性などについて理解するとともに、意図に基づいて効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。
・創造的な表現を工夫したり、書のよさや美しさを味わったりすることができるようにする。
・生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期または後期（中間考査まで）	臨書	・孔子廟堂碑 ・九成宮醴泉銘 ・雁塔聖教序 ・多宝塔碑 ・蘭亭序	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体と書風と用筆・運筆との関わりについて、理解している。 基本的な用筆・運筆、線質、字形や構成を生かした表現について、作品を効果的に表現するために必要な技能を身に付けている。 b:字形の構成や全体の構成について多面的・多角的に考察、構想している。 構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて、自らの意図に基づいて表現を構想し、工夫している。 c:主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	レポート	作品 レポート	制作の様子
前期または後期（期末考査まで）	作品制作	・表札作り ・漢字仮名交じり文	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体と書風と用筆・運筆との関わりについて、理解している。 基本的な用筆・運筆、線質、字形や構成を生かした表現について、作品を効果的に表現するために必要な技能を身に付けている。 b:字形の構成や全体の構成について多面的・多角的に考察、構想している。 構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて、自らの意図に基づいて表現を構想し、工夫している。 c:主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	レポート	作品 レポート	制作の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度